

### 取組メニュー

遅滞ない設計意図伝達

週休2日モニタリング

施工合理化技術

余裕期間

ワンデーレスポンス

## 【取組の現状】

### 遅滞ない設計意図伝達

#### ■「関係者間調整」を早期実施

契約後、直ちに設計者から監督職員及び工事受注者への意図伝達を行い工事準備に係る作業を効率化。

#### ■「工事実施に関する申し送り事項書」の活用

設計段階に取りまとめた「工事実施に関する申し送り事項書」を活用し、設計内容・施工条件・入居官署の要望事項の詳細を工事受注者に伝達。

### 週休2日モニタリング

- 居ながら工事のため、施設の使用状況を踏まえた4週8休の達成に向けた課題を抽出。目標達成により取組証を発行。



現場掲示

### 施工合理化技術

#### ■ デジタル工事写真の小黑板情報電子化

工事写真の小黑板を電子化することで、労力をかけず安全な写真撮影が可能。工事書類の作成を省力化。



小黑板情報入力



写真撮影



出力写真

### 余裕期間

- 工期始期までの余裕期間を1ヶ月半確保。年度末の繁忙時期を余裕期間に設定することで施工時期を平準化。

## 【関係者の声】

### 受注者（施工者 若林電気工事（株））

#### 遅滞ない設計意図伝達

#### 余裕期間

受注者の意向により余裕期間中に関係者間調整の打合せを実施できたため、施工計画や資機材手配等の準備を迅速に行えました。また、工事場所が整備局と近いこと打合せをこまめに行うことができ、円滑に工事を進めることができました。

#### 週休2日モニタリング

施設担当者より、入居者への配慮として土日、祝日は休工の要望がありました。週休2日での工事を達成するため、工程の管理、施設担当者・協力会社との打合せを入念に行い円滑に工事が進むよう努めました。余裕期間内に準備を進められたことも、週休2日を達成できた要因になったと思います。

### 発注者（東北地方整備局）

#### 遅滞ない設計意図伝達

- ・ 設計その2業務や工事監理業務を発注しない小規模改修工事のため、設計意図伝達や質疑応答を担当職員が行った。担当職員の負担が増えた反面、関係者が少数になることで遅滞無い対応ができたとも言える。関係者の多少に関わらず迅速な対応を図るためには情報共有が欠かせない。

#### 余裕期間

- ・ 余裕期間の設定による施工時期の平準化は、発注者側の業務の平準化にも繋がるため、施設管理者の協力（完成時期の要望など）が得られ、有効と判断される場合には活用すべきと考える。